

学校図書館問題研究会東京支部主催 拡大支部会

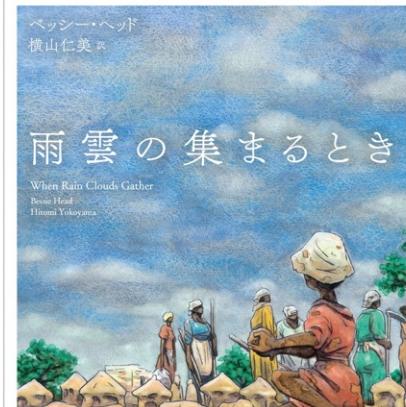
『雨雲の集まるとき』翻訳者

横山仁美氏を囲んで

時 2026年1月24日 (土)

14:30~16:00

場所：玉川聖学院 情報センター
対面&オンライン



この1冊を訳すために出版社を作った
横山仁美さんの心意気は、
ベッキー・ヘッドの情熱と同じ雨雲の中にある。
干ばつの大地をうるおす雨雲の中にある。

雨雲出版

翻訳者 斎藤真理子

事前申込URL

<https://forms.gle/Ti4PunAJ9mYwN4hf6>

申し込み締切 2026年1月18日 (日) zoom情報は20日にお知らせします。

*作品及び著者について知りたい方は[こちら](#)をどうぞ！

横山さんにご質問がある方は、申し込みフォームの最後に自由記述欄を設けました。
ぜひ、そちらにお書きください。

学生時代に出会った、『雨雲の集まるとき』に魅了された横山さんは、著者であるベッキー・ヘッドの書籍の翻訳をライフワークとし、アフリカにも深く関わって来ました。日本での出版を実現したいと、多くの出版社に足を運ぶも実現せず。そんな時、「誰か翻訳してくれないかしら」という韓国文学の翻訳では第一人者の斎藤真理子さんのつぶやきを目にします。横山さんにとっては、背中を押してもらえるエールだったに違いありません。

その後、横山さんが、紆余曲折を経て雨雲出版を立ち上げ、ご自分の訳で出版をと奔走し、遂に長年の夢を実現した経緯をラジオで知り、とても読みたくなったのです。物語は、アパルトヘイト時代の南アフリカから隣国ボツワナに亡命した青年が主人公ですが、今に通じる普遍的なテーマを扱った作品でした。思い切って横山さんに、出版社まで立ち上げた経緯も含め、お話を伺うことは可能かとご連絡をしてみたところ、快諾を得ることができました。

ぜひ多くの皆様に、ご参加いただきたいと思っています。

(文責 東京学芸大学附属世田谷中 村上恭子)